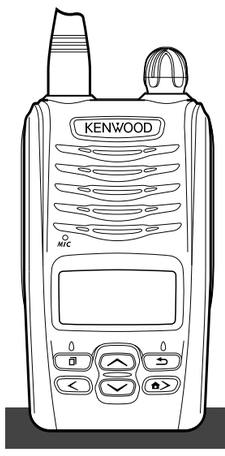
KENWOOD

VHF デジタル携帯無線電話装置
TCP-D143
UHF デジタル携帯無線電話装置
TCP-D243
TCP-D343

取扱説明書



お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。
本機は電波法令による無線局の免許を取得して使用する製品です。

株式会社 JVCケンウッド　　B5A-0104-20 (J)

取扱説明書の記載内容について

この取扱説明書では、代表的な使用例としての設定による説明が記載されています。販売店において各種設定を変更している場合がありますので、操作方法や表示部の表示内容などが本書の説明と異なる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合せください。
また、下記のマークが付いた機能は、それぞれデジタル通信方式およびアナログ通信方式に設定されている場合にのみ対応する機能の説明です。

デジタルモードのみ　アナログモードのみ

説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

- 商品および商品の取扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
  https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル　0120-2727-87
携帯電話・PHS からは、ナビダイヤル　0570-010-114
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は　045-450-8950
FAX を送信される場合は　045-450-2308

住所　〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日　月曜日～土曜日 (祝祭日および、弊社休日を除く)
受付時間　月～金曜日 9: 30 ～ 18: 00
　　土曜日　9: 30 ～ 12: 00、13: 00 ～ 17: 30

株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容 (表示と意味) をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水が掛かる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。
- 運転しながら本機を操作 (通信) するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作 (通信) してください。

充電池 (バッテリーパック) の取り扱いについて

充電池は下記のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- 充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。
- 充電温度範囲は、5℃～ 40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 指定以外の充電台では充電しないでください。
- 無線機以外の機器に取り付けないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解したりしないでください。
- 濡れた無線機と電池を充電しないでください。火災や感電の原因となります。
- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

充電池から内部の液体などが漏れている場合は、直ちに使用をやめて、下記のことをお守りください。

- 充電池内部の液体が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 充電池内部の液体が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠警告

使用方法について

- エアバック装置の近くに無線機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど装置が体に当たってけがをすることがあります。
- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首に掛けないでください。けがの原因となります。
- 無線機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・やけど・感電・故障の原因となります。
- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・やけど・感電・故障の原因となります。
- アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当たってけがを負わせたり、物に当たって装置が破損したりすることがあります。
- ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。けがの原因となります。
- アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。
- アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波やけどの原因となります。
- 高温になる場所 (火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など) で使用、保管、放置しないでください。火災・やけど・けがの原因となります。
- 本機の付属品や、本機から取り外したものを幼児、子供の手の届くところに置かないでください。 あやまって飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色し、火災・やけどの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 無線機は、充電動作中にバッテリーパックの温度が高くなる場合があります。バッテリーパックを交換するときは、やけどに十分気を付けて取り外してください。

異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損したりした場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがしたりするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・やけど・感電・故障の原因となります。
- 煙が出たら、やけどに注意してすぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。
- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

保守・点検

- 無線機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠注意

使用環境・条件

- 電子機器 (特に医療機器) の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
- テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。

使用方法について

- オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因になります。
- ベルトフックに指をはさまないようにご注意ください。
- スピーカー / マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。
- スピーカーマイクロホンなどを無線機に接続している場合は、音量を下げてください。モニター機能を使用するときの音量に注意してください。
- 乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用したときに静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。
- 長期間使わないときは、電源を切り、電池を外してください。
- お手入れの際は、安全のため電源を切り、電池を外してください。
- 充電端子などに水滴が付いたら、安全のため乾いた布で拭き取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。
- 無線機は、長時間、送信のために使用される場合、本体の金属部分が熱くなるので、バッテリーパックを交換するときなどは、金属部分には手を触れないでください。
- マイクの開口部やスピーカーグリルに水が入ると、音声レベルが不安定になったり歪んだりすることがあります。無線機を操作する前に、無線機を軽く振って、スピーカーやマイクから水を取り除いてください。

◆ 充電台など別売品の外部機器使用時の注意については使用する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

定期点検について

本機の性能を維持するために定期的な点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

保証とアフターサービスについて

保証書 (別添)
この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より **2 年間** です。

修理を依頼されるときは
当取扱説明書内の「故障かな？と思ったら」を参照していただき、それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は・・・
正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。
本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は・・・
お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

持込修理
この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み (有料修理の場合は下記の料金が必要です。)
技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代 : 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。
送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法令に基づき、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した製品です。本機を分解・改造して使用すること、また本機裏面の技術基準適合ラベルを剥がして使用することは電波法令により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。
- 施設の管理等により、使用が禁止されているところでは本機を使用しないでください。

電波法に関するご注意(つづき)

免許局運用時のご注意

- **運用上の制限**
  通話は免許状に記載された下記事項の範囲内でおこなわなければなりません。
  1. 無線局の目的
  2. 通信の相手方
  3. 通信事項
  また、免許人以外が運用することは原則としてできません。
- **免許の有効期限**
  免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。
- **再免許の申請**
  引き続き運用する場合は、有効期間が終了する 6 か月前から 3 か月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。
  再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。
- **免許の申請その他の手続き**
  免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。
  ・再免許の申請
  ・免許状の記載事項に変更が生じる場合
  ・免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
  ・無線設備を変更する場合
  ・無線局を廃止する場合

通信方式について
本機はデジタル、アナログ両方の機能を搭載しています (TCP-D243CT はデジタルのみです)。設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。

免責事項について
本機の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

音声圧縮 (符号化) 方式について
米国 DVSI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #7,970,606, #8,359,197, #8,315,860, and #8,595,002.

機種一覧表

本書は、以下の簡易無線と一般業務用無線機を共通に説明しています。

簡易無線機

機種名	TCP-D143	TCP-D243
型式名	TCP-D143CT	TCP-D243CT
送信出力	1 W/5 W (免許状に準じて設定が異なります)	
周波数	許可された 9 波：アナログ 許可された 28 波：デジタル※ 1 (154 MHz 帯) ※ 1 内 9 波はデータ通信専用	許可された 65 波：デジタル (467 MHz 帯)

一般業務用無線機

機種名	TCP-D143	TCP-D243	TCP-D343
型式名	TCP-D143FT	TCP-D243FT	TCP-D343FT
送信出力	1 W/5 W (免許状に準じて設定が異なります)		
周波数	142 ～ 162.0375 MHz	400 ～ 470 MHz	335.4 ～ 400 MHz

防塵/ 防水性能について

本機はオプション接続端子の防水カバーを、隙間のないように正しく取り付けた状態で当社指定のバッテリーパック (別売品) を装着することにより、IPX7 ※1 の防水性能と、IP6X ※2 の防塵性能を有しています。

※ 1 IPX7 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1 m のところに無線機を静かに沈め、約 30 分放置後に取り出したときに無線機としての機能を有することを意味します。
※ 2 IP6X とは、保護度合いを指し、直径 75 μm 以下の塵埃 (じんあい) が入った装置に無線機を 8 時間入れてかくはんさせ、取り出したときに無線機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機の防水性能は真水環境にてのみ性能を保証しております。塩水が掛かる環境でのご使用は 無線機の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。
- 水中での使用 (各種操作キーの押下など) は IPX7 の保証対象外となります。
- ユニバーサルコネクターに接続するオプションは、必ず当社指定品を使用してください。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものを掛けたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、掛けたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に浸したり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。また、スチーム洗浄や高圧洗浄機、エアーダスターなどは使用しないでください
- 雨の中や、水滴が付着したり濡れた手でバッテリーパックやアンテナ、オプションの装着を行うと防水性能の保証はできません。
- マイク部分やスピーカー部分に直接水が侵入すると、音声に歪みが生じる場合があります。その際はご使用になる前に本体を軽く振って水滴を取り除いてください。
- イラストに示す本機裏側の黒丸のシートは剥がさないでください。
- 本機裏側、およびバッテリーパックの裏面にはシールやステッカーなどは貼らないでください。
- IP67 規格の防水性能を維持するため、保証期間終了後は、年に一度の定期点検 (有償) をおすすめします。

ご使用の前に

本機の付属品

ユニバーサルコネクターカバー (ネジ付) 1
アンテナ (TCP-D343のみ) 1
保証書 1
取扱説明書 1

バッテリーパックについて

本機に使用できる充電式バッテリーパックは下記です。
・KNB-57L ..... リチウムイオンバッテリーパック
・KNB-62L ..... リチウムイオンバッテリーパック

バッテリーパックの特性について

- 充電温度範囲は、5 ℃ ～ 40 ℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電したり、無線機を使用したりすると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電/ 放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

バッテリーの持続時間 (目安) について

持続時間は送信 3 秒、受信 3 秒、待受け 54 秒、バッテリーセーブ機能 OFF の連続使用にてテスト使用した場合の目安です。

■ リチウムイオンバッテリーパックの使用可能時間 (バッテリーセーブ OFF)
・KNB-57L　：約 11 時間 (デジタル / アナログモード共)
・KNB-62L　：約 7 時間 (デジタル / アナログモード共)

■ リチウムイオンバッテリーパックの使用環境についてのご注意
・KNB-57L　：－ 20 ℃～＋ 60 ℃の温度範囲で使用できます。
・KNB-62L　：－ 10 ℃～＋ 60 ℃の温度範囲で使用できます。
　－ 20 ℃以上－ 10 ℃未満の温度環境で使用する場合は、ローパワー出力で使用するか、KNB-57L を使用してください。

使用済み充電池の取扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Li-ion 00 充電式

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店か、納入または保守業者へお持ちください。リサイクルにご協力お願いいたします。

バッテリーパックの取り付け/ 取り外し (別売品)

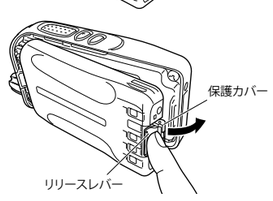
オプション (別売品) については、裏面の「オプション一覧」をご確認ください。

● **取り付ける**

図のようにバッテリーパック裏側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、「カチッ」と音がするまではめ込みリリースレバーをロックさせます。保護カバーを閉じます。

● **取り外す**

バッテリーパックの保護カバーを開いて、リリースレバーを押しながら取り外します。



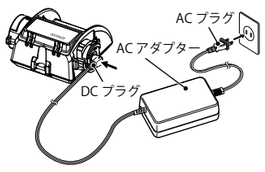
◆ バッテリーパックを取り外す際は、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。
◆ バッテリーパックの取付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。
◆ 無線機は、長時間、送信のために使用される場合、シャーシが熱くなるので、バッテリーパックを交換するときは、これらの場所には手を触れないでください。

バッテリー充電のしかた

- 充電台 KSC-49LCR と ACアダプター KSC-45LSL を使用する場合の説明例です。
- はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。

1 **ACアダプターの DCプラグを充電台の DC IN端子に差し込む**

2 **ACアダプターの AC プラグを AC コンセントに差し込む**

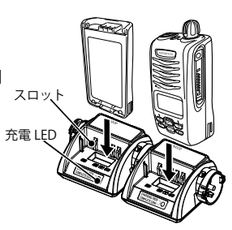


3 **バッテリーパック、またはバッテリーパックを装着した状態の無線機を充電台に差し込む**

※無線機本体を充電台に差し込むときは、電源を OFF にしてください。

充電 LED が「赤」に点灯します。充電時間の目安は下記のとおりです。

・KNB-57L：約 3 時間 20 分
・KNB-62L：約 2 時間 30 分



4 **充電 LED が「緑」に点灯して、充電が完了する**

無線機またはバッテリーパックを抜き取ります。

充電時の状態表示

LED の色	状態
赤点灯	充電中であることを表します。
赤点滅または点灯しない	バッテリーパックが正しく差し込まれていない場合があります。再度差し込みなおしてください。また、充電端子が接触不具合を起こしている場合もあります。 充電台の端子やバッテリーパックの端子を綿棒や乾いた布で拭いてから再度充電してください。 それでも改善しない場合は、バッテリーパック、または充電台に何らかの不具合があります。直ちに充電を中止して、お買い上げの販売店、または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
緑点灯	充電が完了したことを表します。
緑と橙が交互に点灯	バッテリーパックの温度が充電温度範囲外になっています。一度バッテリーパックを充電台から抜き、バッテリーパックが常温になってから再度充電台に挿入してください。

◆ 必ず指定のバッテリーパック、充電台、AC アダプターを使用して充電してください。指定以外の機器を用いて充電すると故障の原因になります。
◆ バッテリーパックは出荷時には満充電されていません。使用前に必ず満充電にしてください。
◆ 長時間使用しないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
◆ バッテリーパックの端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

アンテナの取り付け (別売品)

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクターへ右 (時計方向) に固定されるまで回して確実に取り付けます。

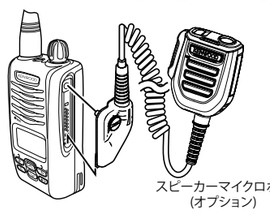
オプション機器の接続 (別売品)

ユニバーサルコネクターにカバーを取り付ける

オプションのスピーカーマイク等を使用しない場合は、付属のネジを使用して取り付けます。

ユニバーサルコネクターにオプションを接続する

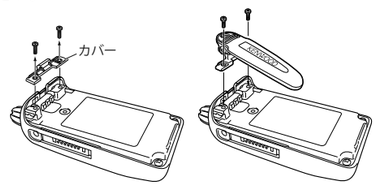
無線機本体のみぞにオプションのスピーカーマイクロホンのガイドを差し込み、ネジでしっかり固定してください。ネジは手で締め付けできますが、確実な防水性能を確保するために、締め付け・取り外しの際はコイン等を使用してください。



◆ 必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
◆ プラグを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、故障の原因になります。

ベルトクリップの取り付け (別売品)

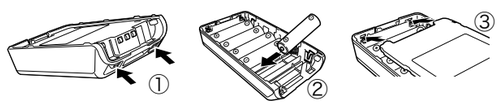
図のように本体のネジとカバーを取り外します。次にベルトクリップと本体のネジ穴を合わせて、取り付けます。ネジは必ずベルトクリップに付属のネジを使用してください。



◆ ベルトフックの付属以外のネジを使用しないでください。
◆ ネジの緩みがないか時々確認してください。

バッテリーケース (別売品) を取り付ける

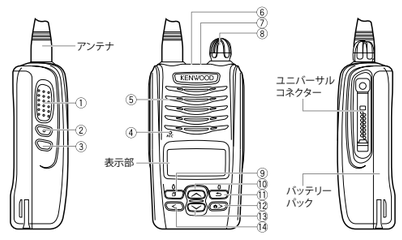
① 図のように 2 カ所のタブを同時に押してカバーを開けます。
② 単三アルカリ乾電池 6 本を極性に注意して入れます。
③ カバーのタブをケースのミゾに合わせて元通りはめ込みます。
取り付け / 取り外しはバッテリーパックと同じです。



◆ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用したり、異なる種類の乾電池を混ぜて使用したりしないでください。
◆ ニカド電池やマンガン電池は使用しないでください。
◆ 長時間使用しない場合は、バッテリーケースを取り外してください。

各部の名称

操作キー/ツマミ



① **【PTT】スイッチ**
押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。

② **【Side1】キー**
スケルチ解除モーメンタリー[1] が動作します。

③ **【Side2】キー**
バックライトが動作します。

④ **マイクロホン**

⑤ **スピーカー**
受信音声を出力します。

⑥ **【AUX】キー**
エマージェンシー (緊急送信)[2] が動作します。

⑦ **送受信LED**
送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。

⑧ **【PWR/VOL】ツマミ**
電源 ON/ OFF、および音量調節をします。

⑨ **【▭】メニューキー**
押すとメニューモードに入ります。

⑩ **【▭】アップキー**
押すとチャンネルがアップします。

⑪ **【▭】リターンキー**
押すとリターンします。

⑫ **【▭】ライト/ ホームキー**
押すとゾーンがアップします[3]。

⑬ **【▭】ダウンキー**
押すとチャンネルがダウンします。

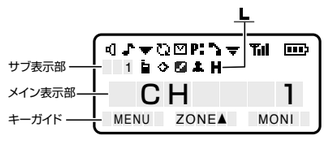
⑭ **【▭】レフトキー**
押すとゾーンがダウンします[3]。

[1]TCP-D243CT は「モニター・モーメンタリー」が動作します。
[2]TCP-D143CT/TCP-D243CT はブランク (機能無し) です。
[3]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

◆ ②③⑥⑨～⑭のキーには機能が登録できます。登録する機能はあらかじめ販売店にて設定されていますが、変更も可能です。お買い上げの販売店にお問い合せください。

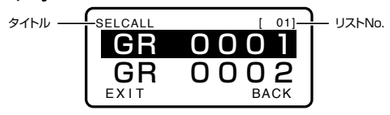
表示部 (簡易無線機での運用モードでの表示)

● 通常モード時



● ファンクションモード時

例)
グループ呼出しモード



機能アイコン一覧

表示	説明
	受信している電波の強さに応じて表示します。 : 強 : 中 : 弱 : 微弱 消灯 : キャリア無し
	バッテリーの残量を表示します。 : 高 : 中 : 低 : 要充電
	モニター / スケルチ解除を表示します。
	着信を受けたときに点滅します。点滅中にいずれかのキーを押すと音声が出力され点灯に変わります。
	右 : スキャン対象チャンネルのときに表示します。 左 : スキャン対象ゾーン[1] のときに表示します。
	点灯 : スキャン ON。 点滅 : スキャン一時停止。
	受信履歴 (スタックデータ) を表示します。 点灯 : 受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅 : 受信履歴に未読のメッセージがあります。
	: プライオリティチャンネル 1 を表示します。 : プライオリティチャンネル 2 を表示します。 : プライオリティチャンネル 1&2 を表示します。
	サイレントアラーム機能を表示します。 : サイレントアラームが設定されると点灯します : 着信を受けたときに点滅します。点滅中にいずれかのキーを押すと、音声が出力され点灯に変わります。
	スクランブラー / 秘話通信機能 ON を表示します。
	エマージェンシー検知機能 ON を表示します。
	ローンワーカー機能 ON を表示します。
H L	送信出力を表示します。 H : ハイパワー出力 (5 W) を表示します。 L : ローパワー出力 (1 W) を表示します。
サブ表示部	チャンネル番号やゾーン番号[1] および GPS の測位状態を表示します。 例) ・ダイレクトチャンネルの場合 : DR1 ～ DR5 ・デジタルモードの場合 : D01 ～ D19 * ・アナログモードの場合 : A01 ～ A09 * * TCP-D143CT のみ
メイン表示部	以下の日本語表示に対応します。(全角最大 7 文字まで) ・チャンネル / ゾーンンネーム[1] ・ステータスネーム ・ID ネーム (個別 ID/ グループ ID) ・起動メッセージ ・エマージェンシーテキスト etc.
キーガイド	表示部の下側に、▭ ▭ ▭ キーを押すと起動する機能を表示します。 ※表示されるガイドは無線機の状態により異なります。 例) MENU : メニューモードを起動します。 LOW : 出力をローパワーに切り替えます。 MONI : モニターを ON/OFF します。 OK : 確定されます。 SELECT : 選択します。 DELETE : 削除されます。 CONFRM : 確認します。 EXIT : 解除されます。 NEXT : 次のステップへ進みます。 BACK : 前のステップへ戻ります。

[1]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

◆ 各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。
◆ 各種設定画面において、【▭ / ▭】キーの機能がリスト選択やコード選択の場合がありますが、その際【▭】のキーガイドは表示されません。

基本操作

通話する

待受受信操作

1 【PWR/VOL】を時計方向に回して電源をONする
「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を OFF するには【PWR/VOL】を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。

2 【ゾーンアップ】/【ゾーンダウン】を押してゾーンを合わせる[1]

3 【チャンネルアップ】/【チャンネルダウン】を押してチャンネルを合わせる
待受受信の状態で相手から送信されると、送受信 LED が「緑」に点灯します。

音量を調節する

4 【PWR/VOL】を回す
時計方向に回すと音量が大きく、反時計方向に回すと音量が小さくなります。
デジタルモードの場合は、はじめに 12 時の位置に合わせておき、その後は相手の音声が適度な音量になるような位置に調節してください。

送信操作

5 【PTT】スイッチを押しながら話す
押しながらマイクロホンに向かって話します。送受信 LED が「赤」に点灯し、送信状態になります。
マイクロホンは口元から 3 ～ 4cm 程度離してください。近づけすぎたり、離しすぎたりすると、受信相手が聞き取りにくくなります。**【PTT】スイッチ**を離すと待受受信状態に戻ります。

[1]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

◆ 他に送信している無線局がないことを確認してから送信してください (送受信 LED の緑色が消灯していること)。
◆ 使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。
◆ TCP-D143CT は、データ専用チャンネルでの音声通話はできません。詳しくは販売店にお問い合わせください。
◆ 通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください (非常通信など電波法で定める場合を除く)。

メニューモード

いろいろな機能をメニュー形式で実行/設定するモードです。

メニューの操作
例) スケルチ・レベルの調整

1 **【メニュー】を押す**
メニューモードになり、カテゴリーリストが表示されます。

2 **【▭/▭】を押してカテゴリーを選び【▭】を押す**
選択したカテゴリーのファンクションリストが表示されます。
【▭】を押すと前の状態に戻ります。

3 **【▭/▭】を押してリストを選び【▭】を押す**
選択した機能が実行されます。
ON/OFF などの機能を設定する場合は、選択した状態が確定されます。

4 **【▭】を押す**
メニューモードが終了します。

◆ 操作の途中で【▭】を押すとメニューモードは終了します。
◆ メニューは最大 8 つのカテゴリーに分類されますが、カテゴリーが 1 つしか設定されていない場合は、直接ファンクションリストが表示されます。
◆ 表示されるメニューの項目やカテゴリーは設定により異なります。設定内容および機能の詳細や操作については、販売店にお問い合せください。

メニューの内容
メニューから実行/設定が可能な機能は下表のとおりです。

メニュー表示 (タイトル)	機能内容
ACTIVITY DTCT	エマージェンシーの検知機能 ON/OFF
AUTO DIAL[1]	オートダイヤル起動
DIRECT CH1 SEL	ダイレクトチャンネル選択
DISP FORMAT	表示形式機能 ON/OFF
EXT MIC TYPE	外部マイクタイプの設定
FIXED VOLUME	固定音量の設定
GPS POS DISP	無線機の位置表示 ON/OFF
GROUP	グループ呼び出しモード (デジタル) 起動
GROUP+SDM[2]	グループ呼び出し+ショートデータメッセージモード起動
GROUP+STATUS	グループ呼び出し+ステータスモード (デジタル) 起動
HOME CH SEL[1]	ホームチャンネル選択
INDIVIDUAL	個別呼び出しモード (デジタル) 起動
INDIV+SDM[2]	個別呼び出し+ショートデータメッセージモード起動
INDIV+STATUS	個別呼び出し+ステータスモード (デジタル) 起動
LONE WORKER	ローンワーカー 機能 ON/OFF
LOW TX POWER	送信パワー (ローパワー)(5 W/1 W)
MONITOR	モニター ON/OFF
PRI CH SEL	プライオリティチャンネルセレクトモード起動
RX AUDIO EQ	受信オーディオイコライザーの設定
RX AGC	自動音量制御
RX LOW CUT	受信時の低周波成分除去モード起動
SCAN	スキャン ON/OFF
SCAN DEL/ADD	スキャン対象 (チャンネル)
SCRAM/ENCRYP	秘話機能 ON/OFF
SCRAM CODE[1]	秘話番号／秘話鍵リスト番号モード起動
SELCALL[1]	セレコール (FleetSync) モード起動
SELCALL+STATUS[1]	セレコール+ステータス (FleetSync) モード起動
SILENT ALARM	サイレントアラームモード起動
SEND GPS DATA	GPS データ送出
SHORT MESSAGE[2]	ショートデータメッセージモード起動
SQUELCH LEVEL[3]	スケルチレベルモード起動
SQUELCH OFF[3]	スケルチ解除の ON/OFF
STACK	受信履歴モード起動
STATUS	ステータス (FleetSync/ デジタル) モード起動
PASSWORD	無線機パスワードモード起動
TX AUDIO EQ	送信オーディオイコライザーの設定
TX AGC	自動マイクゲイン制御の ON/OFF
TX NOISE SUPPR	送信時のノイズ除去モード起動
ZONE DEL/ADD[1]	スキャン対象 (ゾーン)

[1]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。
[2]TCP-D143CT/TCP-D243CT のみの機能です。
[3]TCP-D143CT/TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

販売店にて追加できる機能について

以下の機能は、販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

タイムアウトタイマー
設定された時間が経過すると、連続送信を自動的に停止する機能です。15 秒～20 分の間で設定できます。
設定された時間をすぎても【PTT】スイッチを押し続けると警告音が鳴り、離すと停止します。送信を続けたいときは一度【PTT】スイッチを離してから再度押し直してください。
TCP-D143CT/TCP-D243CT のデジタルモードで 5 分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合 1 分以上経過しないと再度送信することはできません。

バッテリー残量警告
バッテリーの容量が減ると、表示部の " " が点滅して知らせます。LED が「赤」に点滅し警告音が鳴ります。早めにバッテリーバックを充電するか交換してください。

送信パワーの切り替え(ローパワー)
「High:5 W」に設定されているチャンネルを、High ⇔ Low のどちらかに切り替える機能です。
メニューまたは PF キー【LOW トランスミットパワー】を押して切り替えます。
あらかじめ「Low : 1 W」に設定されているチャンネルを「High」に切り替えることはできません。

キーロック
本体のキー操作を無効にして誤操作を防止します。PF キー【キーロック】を押して ON/OFF を切り替えます。キーロックが ON の場合でも以下のキーは操作可能です。
・【エマージェンシー】
・【バックライト】
・【モニター】
・【モニター・モーメンタリー】
・【スケルチ解除モーメンタリー】
・【ファンクション】
・【キーロック】
・【PTT】スイッチ
・【スケルチ解除】

スキャン
スキャンは周波数を自動的に変化させて信号を探す機能です。PF キー【スキャン追加 /削除】により、各チャンネルをスキャンする (追加) または、しない (削除) かを設定します。本機には下記のタイプのスキャンがあります。
・シングルスキャン
スキャンが開始されたゾーンのみをスキャンします。
・マルチスキャン[1]
すべてのゾーンをスキャンします。
・リストスキャン[1]
選択されたゾーンをスキャンします。
・プライオリティスキャン
プライオリティチャンネルセレクトモードで選んだチャンネルを一定時間おきにスキャン動作に入れてチェックするスキャンです。

◆ TCP-D143CT では、アナログチャンネルが設定されているときはスキャンは動作しません。

エマージェンシー(緊急送信)
緊急に連絡が必要な場合、指定局に緊急信号の送受信を行う機能です。緊急信号を受信するとビープ音と表示で緊急事態発生を知らせます。【AUX】キーを押して緊急信号を送信します。緊急送信中に再度押すと終了します。

◆ アナログチャンネル受信中は、【AUX】キーは動作しません (TCP-D143CT のみ)。

ローンワーカー
ユーザーが危険な場所で単独で作業をする場合などに、何らかの事故が発生して一定時間無線機の操作がない場合、自動的にエマージェンシーモードに入る機能です。

エマージェンシー検知
本機は加速度/傾斜センサーを内蔵しており、下記のようにユーザー (無線機本体) の動作や状態を解析し、自動的にエマージェンシー (緊急送信) モードになります。
・転倒検知
ユーザーが倒れた状態を検出します。
・静止検知
ユーザーが動かなくなった状態を検出します。
・動き検知
ユーザーが激しい動きをした状態を検出します。

音声アナウンス[2]
チャンネルやゾーンを切り替えたときに、音声でそのチャンネルやゾーンをアナウンスする機能です。
[1]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。
[2]TCP-D143CT/TCP-D243CT ではチャンネルのみをアナウンスします。

PF(プログラマブルファンクション)

本機のキーには下記機能の設定が可能です。
<機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。>
※ ( ) 内は表示部に表示されるキーガイドを示します。

● 無設定
● エマージェンシー検知 (ACT_DT)
● エマージェンシー遅延タイマーのリセット (ACT_RS)
● オートダイヤル (A_DIAL)[1]
● バックライト (LIGHT)
● ワンタッチコール 1 ～ワンタッチコール 6 (CALL1 ～ CALL6)
● チャンネル番号ダウン (CH ▼)
● チャンネル番号アップ (CH ▲)
● 最終受信チャンネル (スキャン) (CH_RCL)
● ダイレクトチャンネル 1 ～ダイレクトチャンネル 5 (DR1 ～ DR5)
● 表示形式 (DISP)
● エマージェンシー
● 固定音量 (FX_VOL)
● ダブルファンクション (FNC)
● 無線機の位置表示 (GPS)
● グループ呼出 (GROUP) デジタルモードのみ
● グループ呼出 + ステータス (GRP+ST) デジタルモードのみ
● ホームチャンネル (HOME)[1]
● ホームチャンネルに設定[1]
● 個別呼出 (INDCAL) デジタルモードのみ
● 個別呼出 + ステータス (IND+ST) デジタルモードのみ
● キーロック (K_LOCK)
● ローンワーカー (LN WKR)
● 送信パワー (ローパワー) (LOW)
● メニュー (MENU)
● モニター (MONI)
● モニターモーメンタリー (MONI)
● プライオリティチャンネルに設定 (OSP)
● スキャン (SCAN)
● スキャン対象 (チャンネル) (D/A)
● 秘話 (SCR)
● セレコール (SELCAL) アナログモードのみ[1]
● セレコール+ステータス (SEL + ST) アナログモードのみ[1]
● GPS データ送出 (GPS_TX)
● サイレントアラーム (SL_ALM)
● 音量アッテネート
● スケルチレベル (SQL)[2]
● スケルチ解除 (SQ_OFF)[2]
● スケルチ解除モーメンタリー (SQ_OFF)[2]
● 受信履歴 (スタック)(STACK)
● ステータス (FleetSync/ デジタル) (STATUS)
● 無線機パスワード (PASSWD)
● スキャン対象 (ゾーン) (ZN_D/A)[1]
● ゾーンダウン (ZONE ▼)[1]
● ゾーンアップ (ZONE ▲)[1]
● ショートデータメッセージ (SDM)[3]
● グループ呼び出し+ショートデータメッセージ (GRP+SD)[3]
● 個別呼び出し+ショートデータメッセージ (IND+SD)[3]
● メンテナンス (MAINT)

[1]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。
[2]TCP-D143CT/TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。
[3]TCP-D143CT/TCP-D243CT のみでデジタルモードでの機能です。

デジタル通信について

デジタルモードの機能
以下の機能は、デジタルモードの場合に販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

ユーザーコード(UC)通信
同じチャンネルを複数のユーザーが使用する場合、同じユーザーコードを設定している通話グループ同士が通話できる呼出し方式です。
本機はユーザーコード (UC) を、OFF、1 ～ 63 の範囲で設定できます。

デジタルセレコール
デジタルセレコールを使用すると、個別、グループと自由に選択して呼び出すことができます。セレコールの呼び出しを受けると、各々の呼び出し音が鳴り LED が「橙」に点滅します。
・個別呼び出し
相手局を個別に呼び出して通話できます。
・個別呼び出し (ACK 要求)
相手局が通話可能であることを確認して通話できます。
・グループ呼び出し
個別局をグループに分けて、任意のグループ毎に呼び出してグループ内すべての相手と通話できます。
・ページング呼び出し
通話せずに相手局を個別に呼び出すことができます。

ショートデータコール/ロングデータコール
ショートメッセージ (半角英数字 : 100 文字/ 全角文字 : 50 文字まで) またはロングメッセージ (半角英数字 : 4096 文字/ 全角文字 : 2048 文字まで) の送受信ができます。ロングメッセージは PC 等を接続して通信するため、無線機にメッセージを表示させることはできません。

ステータスコール
あらかじめ設定された簡易メッセージ (「休憩中」「作業中」など) を送信する機能です。メッセージを受信すると表示部に " " が点滅して知らせます。受信したメッセージは受信履歴 (スタック) モードで確認できます。

秘話通信
音声データに暗号化を行い、秘匿性を高めた送受信ができます。

アナログ通信について

アナログモードの機能
以下の機能は、アナログモードの場合に販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

アナログセレコール[1]
本機のアナログセレコールは、弊社が開発した FleetSync というデータ通信方式による FleetSync ID を使用した呼出し方法です。
・個別呼び出し
Fleet と ID を指定し、一致する局を呼び出して通話できます。
・Fleet 呼び出し
Fleet だけを指定し、一致する局を呼び出して通話できます。
・グループ呼び出し
Fleet とグループ ID を指定し、一致する局を呼び出して通話できます。
・スーパーバイザー呼び出し
ID だけを指定し、一致する局を呼び出して通話できます。
・ブロードキャスト呼び出し
Fleet と ID が設定されているすべての局を呼び出して通話できます。

ショートメッセージ/ロングメッセージ[1]
ショートメッセージ (半角英数字 : 48 文字/ 全角文字 : 24 文字まで) またはロングメッセージ (半角英数字 : 4096 文字/ 全角文字 : 2048 文字まで) の送受信ができます。ロングメッセージは PC 等を接続して通信するため、無線機にメッセージを表示させることはできません。

ステータスメッセージ[1]
あらかじめ設定された簡易メッセージ (「休憩中」「作業中」など) を送信する機能です。メッセージを受信すると表示部に " " が点滅して知らせます。受信したメッセージは受信履歴 (スタック) モードで確認できます。

スクランブラー[1]
音声データにスクランブルをかけて、通話内容を聞き取れないようにする機能です。
[1]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

その他の機能

本機には次のような機能もあります。これらの機能は販売店においてのみ設定可能です。詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

● **CTCSS** アナログモードのみ
CTCSS (Continuous Tone Coded Squelch) とは、音声信号に CTCSS コードを付加して送信し、自局と相手局で CTCSS コードが一致したときに、スケルチが開き受信できる機能です。特定の相手局と交信したいときにご利用ください。選択できる CTCSS コードは 33 波です。

● **DCS** アナログモードのみ
DCS (Digital Coded Squelch) とは、あらかじめ相手局と決めておいた DCS コードを音声信号に付加して送信します。
自局と相手局で DCS コードが一致したときに、スケルチが開き受信できる機能です。特定の相手局と交信したいときにご利用ください。選択できる DCS コードは 83 種類です。

● **コンパンダー** アナログモードのみ
雑音を抑えて、音声のみを明瞭にする機能です。使用する場所の周りが騒がしく、音声が聞き取りにくい場合に設定します。この機能を使用するには、送信側と受信側の双方がこの機能を設定する必要があります。

● **バッテリーセーブ**
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作が行われるとバッテリーセーブは解除されます。

● **マイク感度**
内蔵マイクおよびオプションのスピーカーマイクの感度を、6dB ～ー 20dB から選択できます。

● **ビート・シフト**
受信する周波数により内部ビートが発生し、スケルチが開いてしまう場合などに、マイコンのクロック周波数を変化させて内部ビートを抑え、受信に影響を与えないようにする機能です。

● **ビジーチャンネルロックアウト**
送信しようとしているチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルでの送信を禁止する機能です。

● **コネクトアンサー[1]**
相手局が通信圏内にいるかどうかを確認できる機能です。
デジタルモードにおいて、通信圏内にいるかどうかを確認する場合は、デジタルセレコールの個別呼び出し (ACK 要求) 機能を使用してください。

● **通話開始トーン**
【PTT】スイッチを押した後、交信可能な状態になるとこのトーンが鳴ります。

● **終話トーン**
通信相手が【PTT】スイッチを離して送信を終了するとこのトーンが鳴ります。

● **起動画面**
電源を ON したときに、表示部に任意のビットマップ画像を 2 秒間表示させる機能です。

● **起動メッセージ**
電源を ON したときに、表示部に任意の文字列 (全角最大 7 文字まで) を 2 秒間表示させる機能です。

● **プログラマブル着信トーン**
ステータスメッセージを受信したときに任意の着信音を鳴らすように設定する機能です。

● **GPS データ送出**
本機に GPS ユニットを接続することにより、自局の位置情報を送信する機能です。

● **無線機の位置表示**
本機に GPS 搭載オプションを接続することにより、自局の位置情報を表示する機能です。

● **表示形式**
待受け受信中の表示をチャンネルネーム、またはゾーン番号とチャンネル番号かを設定する機能です。

● **DTMF[2]**
DTMF は電話などから聞こえるピポパ音のことで、2 つの周波数を組み合わせたコードになります。個別呼出しやレピーターの制御コマンドを送信したりするような場合に使用する機能です。

[1]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT はアナログモードのみの機能です。
TCP-D143CT/TCP-D243CT はデジタルモードのみの機能です。
[2]TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

その他

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
・電源が入らない	電池が消耗している。	充電する。 予備のバッテリーパックや新しいバッテリーパックと交換する。
・通話ができない ・【PWR/VOL】を回しても音が出ない	シグナリングスケルチ (CTCSS/DCS) のコードが違う。 アナログモードのみ	販売店にご相談ください。
	受信波が弱い。	【スケルチ解除モーメンタリー】を押す。
	相手局とチャンネル設定が違っている。	同じチャンネル設定にする。
	相手局と通信方式が違っている。	販売店にご相談ください アナログ通信方式とデジタル通信方式では、交信することができません。
	相手局とユーザーコード (UC) が違っている。 デジタルモードのみ	販売店にご相談ください。
送信ができない	ビジーチャンネルロックアウトが働いている。	チャンネルを変更するか、LED の「緑」点灯が消えるのを待つ。
	スピーカーマイクの接続が外れている。	スピーカーマイクを接続する。
	タイムアウトタイマー (連続送信防止機能) が働いている。	タイムアウトタイマーが機能した場合は、送信禁止時間が経過するのを待つ。
	電池が消耗している。	充電する。 予備のバッテリーパックや新しいバッテリーパックと交換する。
・チャンネルが切り換わらない ・キーを押しても機能しない	キーロックになっている。	キーロックを解除する。

オプション一覧

本機には、次のようなオプション (別売品) が用意されています。
・KSC-256A ..... 6 連急速充電器
・KSC-47L ..... 急速充電器
・KSC-45LSL ..... AC アダプター
・KSC-49LCR ..... 連結充電台
・KNB-62L ..... リチウムイオンバッテリーパック
・KNB-57L ..... リチウムイオンバッテリーパック
・KBP-5 ..... バッテリーケース
・KMC-72 ..... スピーカーマイクロホン
・KMC-47GPS ..... GPS スピーカーマイクロホン
・EMC-10 ..... イヤホン付クリップマイクロホン
・HS-9(G) ..... イヤホン
・KBH-12 ..... ベルトクリップ
・KSB-1 ..... ショルダーベルト
・KLH-177 ..... ハードケース

■ TCP-D143 専用
・KRA-22A ..... VHF ヘリカルショートアンテナ (136 - 150 MHz)
・KRA-22B ..... VHF ヘリカルショートアンテナ (146 - 162 MHz)
・KRA-22C ..... VHF ヘリカルショートアンテナ (162 - 174 MHz)
・KRA-26A ..... VHF ヘリカルアンテナ (136 - 150 MHz)
・KRA-26B ..... VHF ヘリカルアンテナ (146 - 162 MHz)
・KRA-26C ..... VHF ヘリカルアンテナ (162 - 174 MHz)

■ TCP-D243 専用
・KRA-23A ..... UHF ヘリカルショートアンテナ (400 - 450 MHz)
・KRA-23 ..... UHF ヘリカルショートアンテナ (440 - 490 MHz)
・KRA-27A ..... UHF ホイップアンテナ (400 - 450 MHz)
・KRA-27B ..... UHF ホイップアンテナ (440 - 490 MHz)

■ ハードケース KLH-177 ご使用上の注意
本機にバッテリーケース KBP-5 を使用し、ハードケース KLH-177 を装着する場合、ハードケースのホックは外側で留めてください。
バッテリーパック KNB-57L および KNB-62L を使用する場合は内側で留めてください。ただし、スピーカーマイクロホン KMC-72 も使用するときは、マジックテープ側 (ユニバーサルコネクター側) のみ外側で留めてください。

◆ 本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了したりすることがあります。オプションについてはカタログなどをご覧ください。

仕様

機種名	TCP-D143		TCP-D243		TCP-D343
型式名	TCP-D143FT	TCP-D143CT	TCP-D243FT	TCP-D243CT	TCP-D343FT
送信出力	1 W/5 W (免許状に準じて設定が異なります)				
チャンネル数	TCP-D143FT/ TCP-D243FT/TCP-D343FT : 512 ch TCP-D143CT/ TCP-D243CT : 250 ch				
周波数	142 ～ 162.0375 MHz (アナログ / デジタル)	VHF 帯 9 波 (アナログ) VHF 帯 28 波 (デジタル) * 内 9 波はデータ通信のみ	400 ～ 470 MHz (アナログ / デジタル)	UHF 帯 65 波 (デジタル)	335.4 ～ 400 MHz (アナログ / デジタル)
電波型式	F3E/F2D (アナログ) F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル)	F3E/F2D (アナログ) F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル : 19 波) F1C/F1D/F1F (デジタル : 9 波)[1]	F3E/F2D (アナログ) F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル)	F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル)	F3E/F2D (アナログ) F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル)
使用電源	7.4 V DC ± 10 %				
防水・防塵レベル	IP54/55/67				
寸法 (突起物を含む) KNB-62L 使用時	幅 56 mm × 高さ 103.8 mm × 奥行 32.2 mm				
	(幅 59.8 mm × 高さ 122.3 mm × 奥行 37.3 mm)				
質量 (重さ)	約 259 g (オプションのバッテリーパック KNB-62L を含む)				

[1]TCP-D143CT は、データ通信専用の 9 波では通話できません。
※仕様は予告なく変更することがあります。

© 2021 JVCKENWOOD Corporation